

一人はみんなのために、みんなは一人のために

北陸ダンプ就労交渉・確保順調にすすむ

しかし…ダンプが足りない

北陸三県・岐阜での秋から来年に向けての就労工事をとりましたが、このままでダンプが足りなくなる恐れがあります。

とりわけ『岐阜分会』は4ヶ所の現場に配車しあつればなりません。

『高岡分会』(富山)では元請け建設会社の社長さんから、「うちの工事で組合さんに要請した台数は必ず出(こ続しい)」「うちの会社は白ナンバーと差別したことはない」と強く言われました。

他の分会でも同じことが起きることも予想できます。

だから…今が組合員を増やす絶好のチャンス

このままでは、せっかくとった仕事に配車ができなくなります。

発注者や元・下請け建設会社に頼られる北陸ダンプにするため組合員をもっと増やしましょう。



現在就労中の国交省発注・御所トンネル(金沢分会)

ダンプと建設労働者のくみまい、建設労北陸ダンプ支部

ダンプ規制法で認める交通安全推進団体の北陸ダンプ
交通安全講習会を開きます(警察署交通課講師)

○金沢分会/10月8日(水)午後6時30分、労働者アラザ

○嶺北分会/10月12日(日)午前9時、今立商工会館

他の分会も企画・実施しましょう

嶺北分会(福井)岐阜県高山市で8月の大雨災害による復旧工事(2ヶ所)でボランティア活動・派遣(8月31日)

地元新聞記事にありました。

路面補修や土砂撤去

高山市のNPO復旧支援活動を開始

8月の記録的な大雨で被害を受けた高山市で、地元のNPO法人

「サポートコミュニティ飛騨」が、日曜、祝日限定の支援活動「ホリボラ」を始めた。また、各地に被害の爪跡が残り、同団体は「困っている人がいなくなるようにしたい」と、被災者の申し込みを募っている。

同団体は、土砂災害などを受け市社会福祉協議会とともに「飛騨センター」を運営。支援要請がなくなったため、8月下旬に閉所した。今後の活動予定日は7月15日、21日。必要に応じて期間を延ばす。支

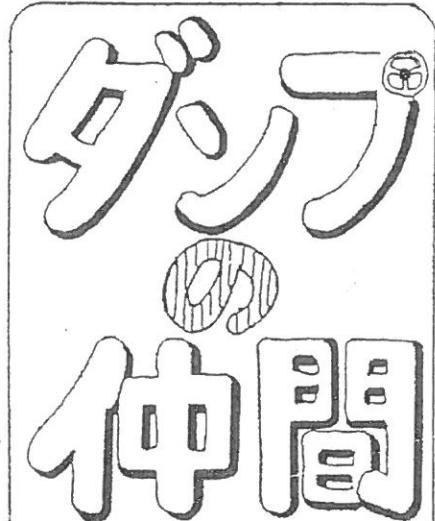


(写真は道路復旧作業中の組合員)



2014/08/31 07:29

(出発・朝の七時半)



No.227 2014.9.25
全労連・全日本建設交通一般労働組合
石川県本部北陸ダンプ支部
石川県金沢市木越町チ77-2
☎(076)257-4885



(牛舎の土砂撤去工事)

平成26年(2014年)9月3日(水曜日)岐阜新聞 朝刊

組合員・ダンプ労災保険加入の表明、北陸ダンプオレンジシートをかけよう

住民の方から感謝の手紙が届きました

先日は、お忙しい中、飛騨高山の災害支援活動にお出かけ頂き、まことにありがとうございました。建交労石川県本部北陸ダンプ支部の皆さんに心から感謝を申し上げます。

私たちの町は、平成16年10月の台風23号災害で被災し、今回は10年ぶりとなる豪雨災害でしたが、人命こそ失われなかったものの地域によっては前回以上の被害が出てしました。これに對して高山市の対応は、「ボランティア活動は民間の力のみで行うもの」「民地に対する行政からの支援はできない」など、過去の被災地と比べてもかなり冷たいもので、「民間の力」しか頼りにすることができるない場所が多くありました。

そのような中、辻さんを代表とする北陸ダンプの皆さんに援助の手をさしのべて頂いたことは、本当に嬉しい限りです。道路を直していただいた地域の皆さん、そして牛舎の経営者からは喜びの声、感謝の声を頂いております。

北陸ダンプの皆さん、このたびは本当にありがとうございました。今後も、是非連携させて頂きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成26年9月3日

辻 猛 様

上 哲也



北陸ダンプ第15次ボランティア活動

場所① 岐阜県高山市清見町三ツ谷

○ 道路復旧工事

場所② 岐阜県高山市千島町

○ 牛舎の土砂撤去工事

Aチーム 道路整備

班長 水上 公男 ユンボーオペ 松田隆二

手元、土のう積

若本豊、川端敏男、牧野克信（一般）、嶋田憲一（一般）

河原照彦（一般）、坪田幸義（一般）

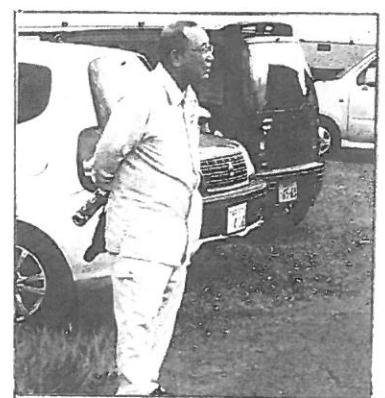
Bチーム

班長 山田満

ダンプ 尾崎主計、上田武司、大島信行、多田信行

チェンソー 天谷国昭（一般）

連絡係 辻 猛、水上ミナ



(あいづつをするけ)支部委員会長



(派遣メンバーの組合員と一般の方々)